

- 2. 政府の支援策
- 3. 自動車
- 4. ロボット
- 6. 電機・電子部品
- 7. 情報通信
- 9. ゼネコン・素材
- 10・11. 保険
- 12. 環境・エネルギー

INDEX

# 日本の強み



## 市場を開拓する

「日本の強み」とは、何だろうか。リーマン・ショック、東日本大震災、超円高と続く試練のなか、日本の産業は何を信じ、何を武器として立ち上がればよいのだろうか。

2月2日、全国の町工場が自作の「喧嘩コマ」を戦わせる「全日本製造業コマ大戦」が横浜で開かれた。厳しい環境のなか、モノづくりを盛り上げようという有志21チームが参加した。優勝チームのコマは指で回しただけで7分以上回転を続けた。

回り続けるコマを支えているのは、優れた設計力と加工技術。本体とつまみの形状、材質と重さを最適にする設計力と、真円度を突き詰める高度な切削加工技術が合わさって初めてコマは7分回り続ける。そして、21チームが多数のコマを作ったのは、削っては回してみるカイゼンを重ねた結果、その頂点に立ったコマは世界に誇る性能を実現した。

日本には、優れた加工技術とモノづくりのアイデアを持つ中小製造業が集積している。この集積の上に大手企業の高度な技術とブランドが加わり、日本は優れた製品を世界に送り出してきた。こんなにたくさんハイブリッド車や電気自動車を作る国はない。巨大な液化天然ガス(LNG)タンクを作る技術があり、目に見えないほど小さな医療用針を作る力もある。安全を守る現場の士気は高い。

東日本大震災から1年が経過し、ようやく明るさが見えてきた日本経済。世界でも一度存在感を示すために、日本の強みを見つめ直し、新たな市場開拓に挑む姿をリポートする。

【写真説明】右上＝町工場が自社の技術の粋を結集して作ったコマがぶつかり合う 左上＝巨大なLNGタンクの建設現場 下＝髪の毛より細い手術針



HITACHI

Reliable solutions

仕事に強く、環境に優しく…  
私たちのソリューション

豊富な技術と経験を融合させて、社会の課題に応える製品づくり。

広大な大地で、都市や市街地で、長時間使われる建設機械。だからこそ、多彩な作業に応える強さと、人や環境に対する優しさが必要です。日立建機は、この課題に応じて、様々なエネルギーを活用した製品開発に取り組んでいます。その一例が、新世代のハイブリッドショベルZH200です。

ZH200は、長年培った油圧ショベル、バッテリーショベル、電動ショベルの技術に、新しい省エネ油圧システムをプラスすることで、高い実用性能と優れた低燃費を実現しました。日立建機は、生産性向上と省エネルギーの課題に応える製品づくりを通して、社会と環境へ貢献するソリューションを提供しています。



ZAXIS 35B バッテリーショベル ZAXIS 75US 電動ショベル EH 4500 ACドライブ+トラクタシステム